

## 《個別の入学資格審査・研修生の入学資格審査について》

出願を希望しているが、各専攻の受験資格を満たしていない場合、出願の前に「入学資格審査」を受ける必要があります。該当する場合は、以下の提出書類を「法政大学大学院事務部大学院課入試担当 宛」で、**提出期限(必着)**までにご提出ください。提出書類、提出期日は各研究科で異なりますので注意してください。

- ・審査で認められた場合のみ、通常の出願手続きを経て受験することができます。
- ・審査結果はその結果にかかわらず、出願開始までに郵送で通知いたします。

- 提出書類**
1. 入学志願票（入学試験面接カード）（様式2）
  2. 最終学歴証明書（在籍期間のわかるもの）
  3. 成績証明書
  4. 研究業績等（各研究科で異なるので詳しくは下記の表を参照してください）

※提出する証明書に関しては19および24ページ以降の注意事項を必ずご確認ください。

※研究業績等を提出する際は原則「受験論文表紙（様式5）」を使用してください。使用しない場合は各ページにページ数をいれたりするなど、指定の条件を満たしていることが分かるようにするほか提出物に志望専攻名と氏名を記入するようにしてください。

※他大学も含め、これまでに「個別の入学資格審査」を受けたことがある場合は事前にご相談ください。

専攻	課程	研究業績等	提出期限(必着)
哲 学	修士	これまで学んできた専門に関するレポート（20,000字程度）	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	これまで学んできた専門に関する論文（40,000字以上） （公表されたもの・未公表のものどちらでも可）	11月30日
	研修生	これまで学んできた専門に関するレポート（20,000字程度）	11月30日
日本文学	修士	学部・学科で学んだ専門に関するレポート（400字×20枚以上） ※ただし、文芸創作研究プログラム志願者は創作（ジャンル、枚数は自由。既発表・未発表を問わない）も可	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	専門に関するレポート（400字×20枚以上）	11月30日
	研修生	学部・学科で学んだ専門に関するレポート（400字×20枚以上） ※ただし、文芸創作研究プログラム志願者は創作（ジャンル、枚数は自由。既発表・未発表を問わない）も可	11月30日
英 文 学	修士	これから学ぼうとする専門に関するレポート （4,000字程度の日本語で執筆されたもの）	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	これから学ぼうとする専門に関するレポート （4,000字程度の日本語で執筆されたもの）	11月30日
	研修生	これから学ぼうとする専門に関するレポート （4,000字程度の日本語で執筆されたもの）	11月30日
史 学	修士	卒業論文に相当する専門の論文 （日本語・20,000字 [400字×50枚] 以上）	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	論文（日本語・[400字×50枚] 程度）3本を3部、 または、修士論文に相当する論文（日本語。60,000字～80,000字 [400字×150～200枚] 程度）を3部	11月30日
	研修生	卒業論文に相当する専門の論文 （日本語。20,000字 [400字×50枚] 以上）	11月30日

地 理 学	修士	卒業論文に相当する、これまで学んできた専門の論文の要旨 (図表・参考文献を含み4,000字程度)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	修士論文に相当する論文または研究論文に要旨を付したもの	11月30日
	研修生	卒業論文に相当する、これまで学んできた専門の論文の要旨 (図表・参考文献を含み4,000字程度)	11月30日
心 理 学	修士	卒業論文に相当する、入学後の専門分野に関するレポート (図表・参考文献を除き4,000字以上)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	入学後の専門分野に関するレポート (公表されたもの、未公表のものどちらでも可)	11月30日
	研修生	卒業論文に相当する、入学後の専門分野に関するレポート (図表・参考文献を除き4,000字以上)	11月30日
国際日本学 インスティ テュート	修士	国際日本学に関連する領域の論文またはそれにかわるレポート (日本語・8,000字程度、PC使用可)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	国際日本学に関連する領域の公刊された学術論文またはそれに相当する業績(日本語) ※日本語以外の場合には、日本語の要旨を添付。	秋：6月30日 春：11月30日
	研修生	国際日本学に関連する領域の論文またはそれにかわるレポート (日本語・8,000字程度、PC使用可)	11月30日
国際文化	修士	入学後に研究するテーマに関する論文またはそれにかわるレポート (日本語 4,000字程度 注：図表・参考文献を含む)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	入学後に研究するテーマに関する公刊された学術論文またはそれに相当する業績(日本語) ※日本語以外の場合には、日本語の要旨を添付。	11月30日
	研修生	前頁「提出書類1～3(全研究科共通)」のみ	秋：6月30日 春：11月30日
経 済 学	修士	入学後に研究するテーマに関するレポート (図表・参考文献を含み8,000字以上、文字数を明記すること)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	修士論文相当の学術論文	11月30日
	研修生	入学後に研究するテーマに関するレポート (図表・参考文献を含み8,000字以上、文字数を明記すること)	11月30日
法 律 学	修士	前頁「提出書類1～3(全研究科共通)」のみ	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	学術論文	11月30日
	研修生	前頁「提出書類1～3(全研究科共通)」のみ	秋：6月30日 春：11月30日
政 治 学	修士	大学を卒業した者と同等以上の学力があり、大学院修士課程で研究しうる実力があると判断できる論文、評論、ペーパー等 (いずれも、日本語もしくは英語で執筆したもの)	9月28日
	博士後期	修士論文に相当する業績を示す論文(公刊されたもの・新たに作成したものどちらでも可)あるいは著書 (いずれも、日本語もしくは英語で執筆したもの)	9月28日
	研修生	大学を卒業した者と同等以上の学力があり、大学院修士課程で研究しうる実力があると判断できる論文、評論、ペーパー等 (いずれも、日本語もしくは英語で執筆したもの)	9月28日

国際政治学	修士	大学を卒業した者と同等以上の学力があり、大学院修士課程で研究しうる実力があると判断できる論文、評論、ペーパー等 (執筆言語の指定は無いが、日本語および英語以外の言語で執筆したものの場合は、日本語または英語の要旨を添付すること)	秋：9月28日 春：12月27日
	研修生	大学を卒業した者と同等以上の学力があり、大学院修士課程で研究しうる実力があると判断できる論文、評論、ペーパー等 (執筆言語の指定は無いが、日本語および英語以外の言語で執筆したものの場合は、日本語または英語の要旨を添付すること)	秋：9月28日 春：12月27日
社会学	修士	①特に興味をもって学んできたテーマに関するレポート (400字×20枚～30枚) ②大学院で研究したいテーマに関する研究計画(400字×5枚以内)	秋：6月30日 春：11月30日
	博士後期	修士論文相当の学術論文	11月30日
	研修生	①特に興味をもって学んできたテーマに関するレポート (400字×20枚～30枚) ②大学院で研究したいテーマに関する研究計画(400字×5枚以内)	11月30日
経営学	修士	①特に興味をもって学んできたテーマに関するレポート (日本語。8,000字～12,000字) ②大学院で研究したいテーマに関する研究計画 2,000字以内(日本語) *刊行された論文があれば添付	8月31日 (春季社会人のみ10月31日)
	博士後期	修士論文に相当する業績を示す論文(公刊されたもの・新たに作成したもののどちらでも可)あるいは著書	10月31日
	研修生	①特に興味をもって学んできたテーマに関するレポート 8,000字～12,000字 ②大学院で研究したいテーマに関する研究計画 2,000字以内 *刊行された論文があれば添付	8月31日
キャリアデザイン学	修士	①特に興味をもって学んできたテーマに関するレポート 8,000字～12,000字 ②大学院で研究したいテーマに関する研究計画書 2,000字以内 *刊行された論文があれば添付	秋：9月30日 春：12月20日
公共政策学・サステイナビリティ学	修士	特に興味を持って学んできたテーマに関するレポート 8,000字～12,000字	出願締切日 1か月前
	博士後期	修士論文相当の学術論文	12月27日
連帯社会インスティテュート	修士	特に興味を持って学んできたテーマに関するレポート (8,000字～10,000字)	秋：6月30日 春：11月30日

## 個別の入学資格審査・研修生の入学資格審査

### 提出書類のうち「最終学歴証明書」「成績証明書」に関して

提出する証明書に関しては24ページ以降を必ずご確認ください。書類に不備や不足がある場合は審査を受けることができなくなりますので早めにご準備ください。

特に「証明書に記載の氏名と現在の氏名が異なっているが、改姓改名を示す書類が不足している」「編入学をしているが前籍の証明書がない」「証明書が日本語もしくは英語ではない」などの書類不備が散見されますのでご注意ください。

#### ■ 最終学歴証明書について

- ・ 証明書は日本語もしくは英語のものをご提出ください。
- ・ コピーの提出は認められませんので原本をご提出ください。
- ・ 学校の「中途退学」「満期退学」は最終学歴としてみなされません。例えば「高等学校卒業→大学中退」の場合は高等学校卒業が最終学歴となります。
- ・ 学校に「在学中」の場合も最終学歴としてみなされません。ただし「卒業見込」である場合は最終学歴としてみなされます。
- ・ 日本語学校／資格取得のためのスクール／予備校など学校法人として認められていないものは最終学歴としてみなされません。
- ・ 例えば「短期大学卒→専門学校卒」など「専修学校の専門課程（専門学校）」「短期大学」「高等専門学校」のいずれも卒業している場合は、両方の学校について証明書をご提出ください。

#### ■ 成績証明書に関して

- ・ 証明書は日本語もしくは英語のものをご提出ください。
- ・ コピーの提出は認められませんので原本をご提出ください。
- ・ 高等学校などを卒業されてから時間が経過している場合、都道府県もしくは都道府県教育委員会の定めにより成績の保存期間が終了し「成績証明書」が発行できないことがあります。その場合は「そういった事由により成績証明書が発行できない」ということを公的に示す説明文書を代わりにご提出ください。